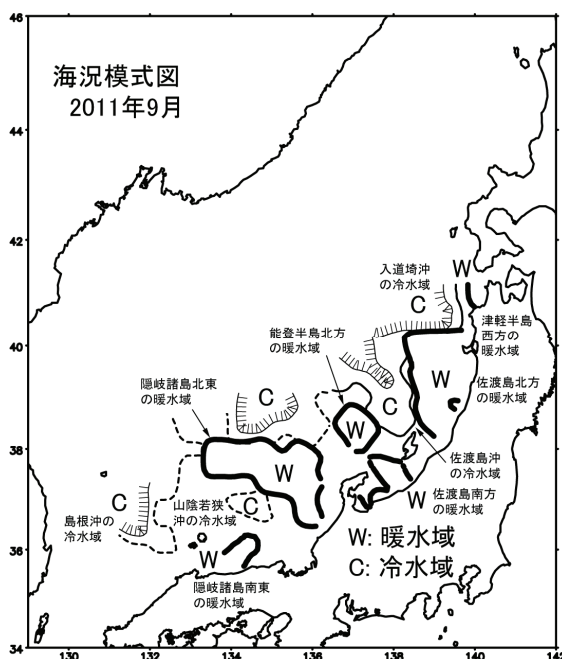


平成23年度 第3回 日本海海況予報

一別表の水産関係機関が検討し独立行政法人水産総合研究センター
日本海区水産研究所がとりまとめた結果一

今後の見通し (2011年10月~12月) のポイント

- ・ 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”~“かなり高め”で経過する。
- ・ 対馬暖流域の50m 深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”で経過する。



2011年10月~12月の海況

- 隠岐諸島南東の暖水域は、消滅する。
- 隠岐諸島北東の暖水域は、勢力を弱めながらやや北上する。
- 能登半島北方の暖水域は、北東に移動して佐渡島北西に分布する。
- 佐渡島南方及び北方の暖水域は、北上しながら合体し男鹿半島~津軽半島西方に分布する。
- 島根沖、山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや弱め。
- 佐渡島沖の冷水域の張り出しは、平年並み。
- 入道埼沖の冷水域の張り出しは、やや弱めで経過する。

問い合わせ先

独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所 業務推進部

担当：関根、中島

電話：025-228-0451、ファックス：025-224-0950

当資料のホームページ掲載先 URL

<http://abchan.job.affrc.go.jp/>

<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>

平成23年度 第3回 日本海海況予報

1. 今後の見通し（2011年10月～12月）

- (1) 隠岐諸島南東の暖水域は、消滅する。隠岐諸島北東の暖水域は、勢力を弱めながらやや北上する。能登半島北方の暖水域は、北東に移動して佐渡島北西に分布する。佐渡島南方及び北方の暖水域は、北上しながら合体し男鹿半島～津軽半島西方に分布する。
- (2) 島根沖、山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、やや弱め。佐渡島沖の冷水域の張り出しは、平年並み。入道埼沖の冷水域の張り出しは、やや弱めで経過する。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、“やや高め”～“かなり高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”で経過する。

2. 経過（2011年6月～2011年8月）

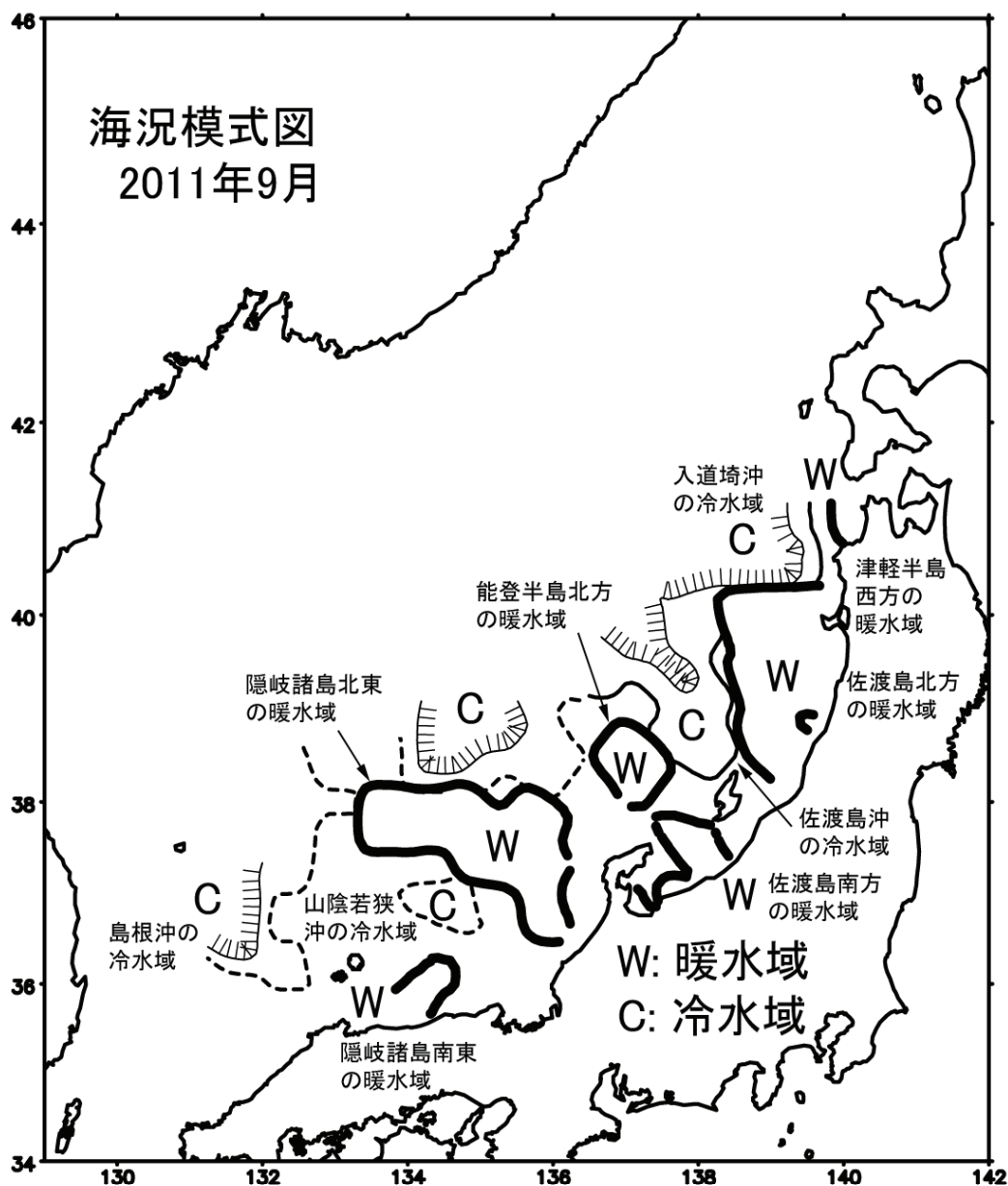
- (1) 6月に隠岐諸島北東にみられた暖水域は、勢力をほぼ維持。6月に能登半島周辺にみられた暖水域は、徐々に北東に移動し7・8月には富山湾から佐渡島北方に広く分布。6月に佐渡島北東にみられた暖水域は、北上し7月に男鹿半島周辺に分布したが8月には消滅。6月に津軽半島西方に見られた暖水域は、7月に消滅。8月に隠岐諸島南東に暖水域が出現。
- (2) 島根沖の冷水域は、6月は規模・接岸状況とも平年並み。7月は規模はやや小さくはなはだ離岸。8月は規模ははなはだ小さくやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、6月は規模はやや小さくやや離岸。7月は規模・接岸状況とも平年並み。8月は規模はやや小さくやや離岸。佐渡島沖の冷水域は、6・7月は規模は平年並みでやや離岸。8月は規模はやや小さくやや離岸。入道埼沖の冷水域は、6月は規模・接岸状況とも平年並み。7月は規模はやや小さくやや離岸。8月は規模・接岸状況とも平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温
6月：能登半島北方及び西方で“平年並み”～“やや高め”である以外は概ね“かなり低めで、東北沖及び隠岐諸島西方では”はなはだ低め”。
7月：隠岐諸島以西の沿岸及び佐渡西方で“かなり高め”である以外は概ね平年並み。
8月：北海道西方沖合及び東北の一部の海域で“かなり高め”である以外は概ね平年並み。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、6月は日本海西部及び北部とも“平年並み”。

3. 現況（2011年9月）

- (1) 暖水域は、隠岐諸島南東、隠岐諸島北東、能登半島北方、佐渡島南方、佐渡島北方、津軽半島西方に分布。
- (2) 島根沖の冷水域は、規模はかなり小さくやや離岸。山陰・若狭沖の冷水域は、規模はやや小さく接岸状況は平年並み。佐渡島沖の冷水域は、規模・接岸状況とも平年並み。入道埼沖の冷水域は、規模・接岸状況とも平年並み。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、津軽半島西方沖合、若狭湾～能登半島周辺海域、山陰沿岸の一部の海域で“かなり高め”である以外は概ね“平年並み”～“やや高め”。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも“平年並み”。

(註) 引用符(“ ”)で囲んで表した、平年比較の水温の高低の程度は以下のとおり

- “はなはだ高め(低め)”：約20年以上に1回の出現確率である2℃程度の高さ(低さ)
- “かなり高め(低め)”：約10年に1回の出現確率である1.5℃程度の高さ(低さ)
- “やや高め(低め)”：約4年に1回の出現確率である1℃程度の高さ(低さ)
- “平年並み”：約2年に1回の出現確率で、平年値±0.5℃程度の水温



2011年9月の海況模式図

参 画 機 関

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 中央水産試験場	福井県水産試験場
地方独立行政法人 青森県産業技術センター 水産総合研究所	京都府農林水産技術センター 海洋センター
秋田県農林水産技術センター 水産振興センター	兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター
山形県水産試験場	鳥取県水産試験場
新潟県水産海洋研究所	島根県水産技術センター
富山県農林水産総合技術センター 水産研究所	山口県水産研究センター
石川県水産総合センター	社団法人漁業情報サービスセンター (取りまとめ機関) 独立行政法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所